

(様式2)

学校関係者評価報告書

愛媛県立宇和島水産高等学校
学校番号(41)

評価実施日		令和5年2月27日(月)	
委員	氏名	所属等	備考
	谷本 治	学校評議員、宇和島地区少年警察ボランティア協会	
	大野 友子	保護者代表、PTA会長	
	桧垣 俊司	学識経験者、愛媛県農林水産研究所水産研究センター長	
	広沢 初志	地域代表、愛媛県漁業協同組合宇和島支所 副運営委員長	
	西田 一洋	中学校関係者、宇和島市立城東中学校長	

評価・提言等	提言等に対する改善方策等
<p>1 今年度の最終評価について</p> <p>(1) 学習指導 家庭学習時間については、考査中については2時間以上であるが、平日、休日も含めて1日平均2時間以上の目標達成に向けて取り組んでほしい。基礎学力充実のための校内テストは、80点以上の生徒40%以上を目標にしている。相対評価のみならず、一人一人の絶対評価についても考慮してほしい。大人についても文章力が低下している。図書委員が本の魅力を紹介するなど工夫をして、本を読む生徒を増やし、文章力を身に付けさせてほしい。</p> <p>(2) 生徒指導 身だしなみ指導において再指導者が少ないという背景には、生徒の主体性に任せた校則変更があるのではないかと。来年度全校によるボランティア活動を行う予定だということだが、決してボランティアという強制にならないようにしてほしい。、コロナ禍での制限はあったが、昨年よりは実施できた行事が増えたことは良かった。交通マナーについても引き続き、加害者にも被害者にもならないように指導して行ってほしい。また、生徒の補導等の情報についても、定期的に教えてほしい。協力できることは行いたい。</p> <p>(3) 進路指導 進学においては、個別指導の充実により、国立大学に複数名合格したことをはじめ、第1志望校合格を達成することができてよかった。就職希望者のうち、水産・海洋・食品系分野への就職率が下がっているということだが、一年毎に一喜一憂せず、長期的な視野で取り組んでほしい。</p> <p>(4) 業務改善 多くの職員が有給休暇を取得することができたが、まだまだ遅くまで勤務している教職員もいると思われる。来年度以降も継続して、働き方改革に取り組んでいく必要がある。</p>	<ul style="list-style-type: none">・家庭学習時間の少ない生徒の原因を把握し、担任が家庭と連絡を取りながら改善に努める。また、学校での補習等も検討する。・資格取得のための学習など、指導に工夫を凝らし、生徒の興味・関心を喚起する。・ネットによるものなど、図書館の利用以外の読書もあるのではないかとと思われる。今後は水産科として専門書を読ませることに力を入れたいと考えているため、具体的日程の検討も行いたい。・基本的生活習慣の確立に努めるとともに、安全教育にも全教職員で取り組んでいきたい。学校行事等については、更に来年度も、感染症対策をしながら、開催する方向で取り組んでいきたい。・善悪の判断ができるように、厳しくも優しい目を持って、生徒指導に努めていきたい。・面接指導の開始時期を早めるとともに、就業体験などの体験活動の機会を拡大する。・応募前見学を勧め、地元中心に学科の特性を生かせる事業所への関心を高めさせる。・担任との面談に加え、各科での指導も充実させたい。・校務支援システムの活用を推進するなどし、業務の効率化を図るとともに、遅くなっている教職員へ声かけをし、その理由を把握して、適切な仕事配分を行う。・メンタルヘルスの向上に一層力を入れ、教職員が心身ともに充実した職場づくりを行う。
<p>2 説明・公表について</p> <p>(1) 寄宿舎など施設・設備が充実してきた。</p> <p>(2) 学校の再編に向けて、様々な情報を同窓会や保護者・地域に発信してほしい。</p>	<ul style="list-style-type: none">・施設・設備の充実や様々な機会を捉えて、保護者や地域へ更なる情報発信を行い、校区外からの生徒の入学者が増えるよう努めていきたい。
<p>3 学校運営への提言</p> <p>(1) コロナが第5類となったとしても、感染力が弱まるわけではないので、対策は引き続き行ってほしい。</p> <p>(2) 生徒主体の動画編集力や発信力を生かして、学校の魅力を更にアピールしてほしい。</p>	<ul style="list-style-type: none">・引き続き、感染症対策を心掛けながら、様々な行事等へ取り組んでいきたい。・今後も、生徒の意見も幅広く反映できるよう生徒会等との意見交換の機会を設けたい。・生徒を交えた、保護者・中学校への説明会や体験入学等で、情報発信の充実を図りたい。